

国立・国定公園の名称の分析

(1) 名称に表されている地名等の数(1～3以内)

名称の数	国立公園数	国定公園数	代表例(国立公園)
1つ	15	32	知床、大雪山、日光、上信越高原、白山、南アルプス、瀬戸内海、西海、西表
2つ	10	13	支笏洞爺、十和田八幡平、磐梯朝日、吉野熊野、阿蘇くじゅう、霧島屋久
3つ	3	10	利尻礼文サロベツ、秩父多摩甲斐、富士箱根伊豆

(2) 使用している名称の種類(国立公園での例)

	国立公園数	代表例
地名(地形の固有名)	22	利尻礼文サロベツ、阿寒、十和田八幡平、小笠原、白山、瀬戸内海、霧島屋久
地名(旧国名)	2	秩父多摩甲斐、伊勢志摩
造語(新たな空間概念)	4	陸中海岸、上信越高原、中部山岳、西海

(3) 名称に表されている地名等の数と公園の平均面積

名称の数	国立公園数	国立公園平均面積(ha)	国定公園数	国定公園平均面積(ha)
1つ	15	73,455	32	19,545
2つ	10	63,412	13	30,925
3つ	3	90,713	10	31,704

3つの名称を使用している公園の方が面積は広いという傾向はあるが、1つの名称を使用している公園との間で極端な差があるわけではない。

むしろ、複数の名称を用いている国立公園を細分化していったとしても、名称に対する地元の要望との関係で、3つまでであれば、名称の列記が繰り返されることが懸念される。(3つの名称を使用している国立公園面積は約9万ヘクタール。3分割して平均3万ヘクタールと仮定しても、国定公園では、同規模で複数の名称を使用している例が多い。)

単純に長い名前を有する公園は分割すれば良いという話ではなく、名称を列記することのメリットもあるものと思料。

(4) 国立・国定公園指定後の名称変更事例

公園名の変遷	変更の経緯
十和田国立公園 十和田八幡平国立公園	八幡平地域の編入時 (S31) に名称変更
秩父多摩国立公園 秩父多摩甲斐国立公園	公園計画再検討時 (H12、山梨県域の規制強化) に名称変更
富士箱根国立公園 富士箱根伊豆国立公園	伊豆半島地域の編入時 (S30) に名称変更
大山国立公園 大山隠岐国立公園	隠岐島、島根半島、三瓶山、蒜山地域の編入時 (S38) に名称変更
雲仙国立公園 雲仙天草国立公園	天草地域の編入時 (S31) に名称変更
阿蘇国立公園 阿蘇くじゅう国立公園	公園計画点検時 (S61) に名称変更
霧島国立公園 霧島屋久国立公園	屋久島地域、錦江湾国定公園の編入時 (S39) に名称変更
利尻礼文国定公園 利尻礼文サロベツ国立公園	サロベツ湿原を加えて国立公園の昇格時 (S49) に名称変更
足摺国定公園 足摺宇和海国立公園	宇和海地域を大幅に加えて国立公園の昇格時 (S47) に名称変更
佐渡弥彦国定公園 佐渡弥彦米山国定公園	米山地域の編入時 (S56) に名称変更
金剛生駒国定公園 金剛生駒紀泉国定公園	紀南地域の区域拡大時 (H8) に名称変更

別団地の編入時や区域の大幅拡張時に対象地域の名称を公園名に追加する事例が多い。

(5) 指定にあたって当初案から名称が変更された (採用されなかった) 事例

公園名	内容
知床国立公園	当初案「知床半島国立公園」で諮問されたが、名称変更し、指定 (S39)。
鳥海国定公園	当初案「鳥海山国定公園」で諮問されたが、名称変更し、指定 (S38)。
丹沢大山国定公園	当初案「丹沢国定公園」で諮問されたが、名称変更し、指定 (S40)。
越前加賀海岸国定公園	当初案「越前海岸国定公園」で諮問されたが、名称変更し、指定 (S43)。
八ヶ岳中信高原国定公園	当初案「蓼科八ヶ岳霧ヶ峰美ヶ原塩尻峠国定公園」で諮問されたが、名称変更し、指定 (S39)。
比婆道後帝釈国定公園	当初案「中国山地国定公園」で諮問されたが、名称変更し、指定 (S38)。その後、別の場所で、西中国山地国定公園が指定されている (S44)。

公園計画書案 (審議会諮問用) に記載のあった名称を対象に、実際の指定時の名称が異なっているものを抽出。